

**DocAve<sup>®</sup> Online**

**ver 3 SP17**

**リリースノート**

リリース日: 2017 年 7 月 24 日

# 新機能と強化点

## レプリケーター

- Nintex ワークフロー定義をレプリケートすることが可能になりました。
- Office 365 グループ チーム サイトをレプリケートすることが可能になりました。

## レポート ポイント

- Office 365 グループ チーム サイト用の **構成レポート** を構成することが可能になりました。
- Office 365 グループ チーム サイト用の **監査レポート** を構成することが可能になりました。

## 管理センター

- **非アクティブ アカウントの整理** を除く **セキュリティ** タブ配下のすべての機能が Office 365 グループ チーム サイトに対応しました。

## 展開マネージャー

- Office 365 グループ チーム サイトを展開することが可能になりました。

## コンテンツ マネージャー

- Office 365 グループ チーム サイトの移動・コピーを実行することが可能になりました。
- **コンテンツ マネージャー** ジョブで **ワークフロー定義を含む** チェックボックスを選択した場合、Nintex ワークフロー定義の移動・コピーを実行することが可能になりました。

## Exchange Online バックアップ & リストア

- アプリ プロファイル経由で登録したパブリック フォルダー メールボックスを保護することが可能になりました。

## 既知の問題

- 移動元フォルダーと移動先フォルダーが競合していない状態で、フォルダー レベル間の **コンテンツ マネージャー** ジョブを実行します。**コンテナ レベルの競合解決** として **スキップする** が選択されている状態で、**下位オブジェクトを確認する** チェックボックスを選択解除します。ジョブの完了後、フォルダー競合のため、ドキュメントが移動先にコピーされません。
- サイト コレクション レベルで発行機能をアクティブにしていない移動先に Web パーツの **目次** をコピー / 移動することができません。

**対処法:** 移動先サイト コレクションで発行機能をアクティブにします。

- 移動元ノード レベルが移動先ノード レベルと同じである場合、**コンテンツ マネージャー** ではコンテナ レベルの競合として扱われます。これは既定の論理です。**バージョン設定** 画面で、**コンテンツの承認、ドキュメントのバージョン履歴、下書きアイテムのセキュリティ** セクションのうち、いずれか 1 件のセクションで **[すべてを既定値に設定する]** をクリックすると、この 3 箇所のセクションの設定がすべて既定値に設定されます。これは API の制限に起因します。
- 多数のアイテム (5,000 アイテム以上) をコピーする場合、コピー先にアクセスできなくなることがあります。この場合、「429 TOO MANY REQUESTS」とメッセージが表示されます。この問題を防ぐため、営業時間内に大規模なジョブを実行しないことを推奨します。

これは SharePoint の調整制限によるものです。詳細については [https://msdn.microsoft.com/JA-JP/library/office/dn889829\(v=office.15\).aspx](https://msdn.microsoft.com/JA-JP/library/office/dn889829(v=office.15).aspx) を参照してください。ジョブの完了後、対象サイトへのアクセスが可能になります。

- サイト コレクションに存在する SharePoint Online App もしくは AppData のバックアップデータを、別のテナント グループに所属するサイト コレクションへリストアすることはできません。
- SFTP ストレージ タイプの物理デバイスを構成し、SFTP サーバーが freeSSHd である場合、パスワードおよびプライベート キー ファイル (.ppk file) の両方を同時にテストすると、テスト結果は失敗となります。これは、DocAve Online SFTP では .openssh フォーマットでのプライベート キー ファイルのみに対応しているため発生します。PuttyGen による .ppk フォーマットでのプライベート キー ファイルには対応していません。この問題の解決方法として、プライベート キー ファイルが .ppk フォーマットの場合、PuttyGen を使用して .openssh ファイルに変換する必要があります。
- 使用中にネットワーク分断が発生した場合、**ジョブを開始しました** または他の操作インジケータが通知ペインで正常に表示されない可能性があります。通知の表示に失敗しても、ジョブ

は正常に開始されており、DocAve Online ジョブ モニターで追跡されている可能性があります。操作の再開始または新しいレポートのエクスポートを実行する前にジョブ モニターを確認することが推奨されます。

- SharePoint Online サイト コレクションの URL に特殊記号 [~] が含まれている場合、このサイト コレクションのストレージ クォータは **レポート ポイント > 管理レポート > 構成レポート** 内のレポートに記載されません。この問題は SharePoint Online の API 制限により発生します。
- [workflow;open a] というテキストが含まれる名前でプランおよびプロファイルを作成すると、保存時にエラー メッセージが表示されます。これは、[workflow;open a] が Windows ファイアウォールのルールの起動に使用されるコマンドであるため発生します。
- DocAve Online では、サイト コレクション管理者またはそれ以上の権限を持つユーザーのみが SharePoint Online サイト コレクションの登録を行うことができます。
- DocAve Online では、ディスカッション掲示板内のアイテムの承認状態のリストアには対応していません。
- SharePoint Online では、5000 以上のアイテムを含むリストの継承を解除すると、ジョブが失敗となります。この問題は SharePoint Online の制限に起因します。
- SharePoint Online クライアントの API 制限により、**[このビューのリスト ビュー Web パーツに表示するアイテム数]** および **[モバイル リストの簡易ビューに表示するフィールド]** のプロパティ情報を取得することはできません。
- フィルター ポリシーを正しく構成しジョブを正常に実行させるには、フィルター ポリシーの構成時、**値** 列にはパーセンテージではなく小数点の表示形式で入力する必要があります。
- 移動元サイトを移動先サイト コレクションへマージする場合、移動元サイト管理者は移動先サイト コレクション管理者へ昇格しません。このため、移動元サイト管理者には移動先サイト コレクションへのアクセス権限はありません。移動元サイトは移動元サイト コレクションで設定された権限をそのまま継承します。この問題に対処するには、移動元サイト コレクションを移動元ノードとして指定し、移動元で設定したすべての権限を移動先サイト コレクションへ移します。
- SharePoint API の制限により、サイトの言語設定に対するバックアップおよびリストアには対応していません。**SharePoint API です。[不要] SharePoint API の SharePoint.Client.Web** は AlternateUICultures 属性を保持していません。例えば、移動元チームサイトの言語設定を構成し、コンテンツ マネージャーを使用して移動元サイトを移行先サイトへ添付します。コンテナ レベルの競合解決では **[マージ]** を選択し、コンテンツ レベルの

競合解決には **[上書きする]** を選択した場合、移動元言語設定は移動先へコピーされません。

- クライアント API 制限により、制限付きアクセス権限のリストアには対応していません。例えば、移動元サイト内でアイテムの権限継承を解除し、セキュリティ グループを追加、権限の編集を行います (SharePoint Online では制限付きアクセス権限の選択は必須)。コンテンツ マネージャーを使用し、コンテナ レベルの競合解決では **[マージ]** を選択、コンテンツ レベルの競合解決には **[上書きする]** を選択して移動元サイトを移動先サイトへマージした場合、制限付きアクセス権限は移動先へコピーされません。
- 監査設定のリストアには対応していません。移動元サイト コレクション内の監査設定に対するバックアップおよびリストアには対応していません。クライアント API の制限により、**Audit**、**TrimAuditLog**、**Site.AuditLogTrimmingRetention** の **Microsoft.SharePoint.Client.Site** 属性はリストア中に取得できません。
- 個人用ビューは他のユーザーがアクセスできないプライベート リソースのため、リストアすることができません。例えば、移動元チームサイトの言語設定を構成し、コンテンツ マネージャーを使用して移動元サイトを移行先サイトへ添付するとします。コンテナ レベルの競合解決では **[マージ]** を選択し、コンテンツ レベルの競合解決には **[上書きする]** を選択した場合、移動元言語設定は移動先へコピーされません。

## 通知

この発行に含まれている資料は AvePoint, Inc に所有または提供され、AvePoint およびそのライセンス提供会社のプロパティであり、著作権、登録商標ならびに他の知的所有権に関する法律によって保護されています。本書に掲載する通知および著作権の情報のいかなる削除ならびに変更も禁じます。

## 著作権

Copyright© 2017 AvePoint Japan K.K. All rights reserved. 本書の著作権は AvePoint Japan 株式会社に帰属します。本書に掲載されている情報はすべて日本著作権法において保護されており、内容の無断複製、更新、転載を禁じます。本書のいかなる部分、いかなる書式および電子通信、機械的送信、複製、記録などのいかなる方法、あるいは AvePoint Japan 株式会社 (〒108-0074 東京都港区高輪 4 丁目 10 - 18 京急第一ビル 11 階)、ならびに本書に掲載する情報がサードパーティに所有される場合サードパーティによる事前の文書による許諾なしに複製、保存、送信を禁じます。また上記の如何に関わらず、本発行物内の AvePoint 関連の情報 (派生物及び変化物を含む) の何人による複製及び転載も禁じます。また、如何なる複製物並びに転載物も自動的に AvePoint に属するものとし、該当者または継承者、担当者、相続者、恩恵者、実行者のいずれも該当複製物並びに転載物を直ちに AvePoint へ返却し、必要書類に署名することに同意するものとします。

## 登録商標

AvePoint<sup>®</sup>、DocAve<sup>®</sup>、AvePoint ロゴおよび AvePoint ピラミッド ロゴは AvePoint Japan 株式会社による日本特許庁登録済みの商標です。これらの登録商標および本書に使用されている他の商標はすべて AvePoint の専有プロパティであり、文書による許諾なしには使用できません。

Microsoft、MS-DOS、Internet Explorer、Office、Office 365、SharePoint、Windows PowerShell、SQL Server、Outlook、Windows Server、Active Directory、Dynamics CRM 2013 はマイクロソフト株式会社の商標または登録商標です。

Adobe Acrobat、および Acrobat Reader は Adobe Systems、Inc の商標です。

その他本書に掲載されている商標はすべて該当の所有者のプロパティであり、許諾なしに使用することを禁じます。

## 変更

本書は情報の提供のみを目的とし、通知なしに変更または更新される場合があります。当社では最新、そして正確な情報を提供するよう努力しておりますが、あらゆるコンテンツの誤りもしくは脱落に起因する間接的、派生的に生じた損害に対し、一切の責任を負わないものとします。当社は、ユーザーに対し予告、通知をすることなく AvePoint ソフトウェアのグラフィック ユーザー インターフェイスを変更する権利を所有しています。

AvePoint Japan 株式会社

〒108-0074

東京都港区高輪 4 丁目 10-18

京急第一ビル 11 階